

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月12日(2022.10.12)

【公開番号】特開2022-40318(P2022-40318A)

【公開日】令和4年3月10日(2022.3.10)

【年通号数】公開公報(特許)2022-043

【出願番号】特願2022-6235(P2022-6235)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月3日(2022.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光装置と、

前記発光装置の輝度値を変更する操作が可能な操作手段と、

前記発光装置を制御する発光制御手段と、

前記発光装置とは異なる演出装置と、

前記演出装置を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出装置は、電源投入がされると規定動作を行い、

前記演出装置が規定動作を行う期間のうち第1動作期間では、前記輝度値の変更が可能となる調整可能期間が設定されないことによって、前記操作手段の操作に基づいて前記発光装置の輝度値を変更不能であり、前記第1動作期間は、前記演出装置のうち第1演出装置が規定動作を行い得る期間であり、
30

前記演出装置が規定動作を行う期間のうち第2動作期間では、当該第2動作期間の全体にわたって前記調整可能期間が設定されることによって、前記第2動作期間に移行した時点において前記操作手段の操作に基づいて前記発光装置の輝度値を変更可能であり、前記第2動作期間は、前記演出装置のうち第2演出装置が規定動作を行い得る期間であり、前記第2動作期間は、前記第1動作期間に続けて開始される期間であり、前記第2演出装置の規定動作は、前記第1演出装置の規定動作の次に実行され、

前記発光装置には、前記操作手段の操作に基づいて前記輝度値を変更し得る発光装置に加えて前記輝度値を変更し得ない発光装置を含み、

前記輝度値を変更し得ない発光装置は、前記第1動作期間及び前記第2動作期間では所定の輝度で発光し、

前記第1動作期間では、前記輝度値を変更し得る発光装置の輝度値を特定可能な輝度情報が表示されず、

前記第2動作期間では、前記輝度情報が表示され得るようになっており、前記演出装置とは異なる音声装置と、

前記音声装置の音量値を変更する操作が可能な操作手段と、

前記音声装置を制御する音声制御手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決する遊技機は、発光装置と、前記発光装置の輝度値を変更する操作が可能な操作手段と、前記発光装置を制御する発光制御手段と、前記発光装置とは異なる演出装置と、前記演出装置を制御する演出制御手段と、を備え、前記演出装置は、電源投入がされると規定動作を行い、前記演出装置が規定動作を行う期間のうち第1動作期間では、前記輝度値の変更が可能となる調整可能期間が設定されないことによって、前記操作手段の操作に基づいて前記発光装置の輝度値を変更不能であり、前記第1動作期間は、前記演出装置のうち第1演出装置が規定動作を行ひ得る期間であり、前記演出装置が規定動作を行う期間のうち第2動作期間では、当該第2動作期間の全体にわたって前記調整可能期間が設定されることによって、前記第2動作期間に移行した時点において前記操作手段の操作に基づいて前記発光装置の輝度値を変更可能であり、前記第2動作期間は、前記演出装置のうち第2演出装置が規定動作を行ひ得る期間であり、前記第2動作期間は、前記第1動作期間に続けて開始される期間であり、前記第2演出装置の規定動作は、前記第1演出装置の規定動作の次に実行され、前記発光装置には、前記操作手段の操作に基づいて前記輝度値を変更し得る発光装置に加えて前記輝度値を変更し得ない発光装置を含み、前記輝度値を変更し得ない発光装置は、前記第1動作期間及び前記第2動作期間では所定の輝度で発光し、前記第1動作期間では、前記輝度値を変更し得る発光装置の輝度値を特定可能な輝度情報が表示されず、前記第2動作期間では、前記輝度情報が表示され得るようになっており、前記演出装置とは異なる音声装置と、前記音声装置の音量値を変更する操作が可能な操作手段と、前記音声装置を制御する音声制御手段と、を備えることを要旨とする。

10

20

30

40

50